

令和7年度 指定管理業務の評価結果

令和7年度に指定管理者が行った管理業務について、指定管理者選定委員会で行った評価結果を公表します。

評価の対象は、指定期間が令和6年4月1日から令和11年3月31日である燕・弥彦総合事務組合斎場です。燕・弥彦総合事務組合斎場指定管理者選定委員会では、評価を行うにあたり当該施設の視察と指定管理者及び施設所管課のヒアリングを行いました。

なお、出席した全員の個別の評価項目の合計得点（100点満点）の平均点を基礎とした5段階（A、B、C、D、E）で評価を実施しています。

《委員会の評価基準》

総合評価	判 定 基 準	平均点（100点満点）
A	最終的な評価の結果、優れていると認められる。	90点以上
B	最終的な評価の結果、やや優れていると認められる。	90点未満～75点以上
C	最終的な評価の結果、最低基準を満たしたレベルであると認められる。	75点未満～60点以上
D	最終的な評価の結果、やや劣ると認められる。	60点未満～45点以上
E	最終的な評価の結果、劣ると認められる。	45点未満～0点以上

評価結果

施設の名称	燕・弥彦総合事務組合斎場	
指定管理者名	有限会社 中央クリーンセンター	
総合評価結果 (平均点)	評価の理由・改善事項・その他	
A (91)	団 体 に 関 する 事 務	・ 今までに蓄積されたノウハウや実績があり、安定的な運営は十分に可能であると認められる。 ・ 適正な運営に努められている。 ・ 燕、弥彦地域の長年にわたる実績と安全に稼働されている様子がわかり、信頼がおける。
	利 用 者 に 対 する サ ー ビ ス の 向 上	・ 利用者のアンケート結果からも、満足度が非常に高いことがうかがえる。 ・ 利用者目線に立ち、気持ちのいい接客対応に心がけられている。 ・ トラブルに対しても適切に対応されている。 ・ 様々なケースを事前に想定し、的確な研修や OJT が行われている。日々の業務の中での改善も行われている。
	施 設 の 効 用 の 発 揮	・ 施設、設備の維持管理がしっかりされていて、清掃・整頓がゆきとどいている。 ・ 有資格者が適正に配置されている。 ・ 収骨業務時間拡大（昼休み時間帯）にも前向きにご検討してもらいたい。 ・ 清掃やサービスが行き届き、グリーンケアに適切な環境を整えられている。お昼時間帯の収骨業務対応に関しては様々な考え方があると思うが、今の余裕がこの状況を生み出している気もする。
	管 理 運 営 能 力	・ 研修も充実しており、問題ない。 ・ 職員の連携や研修がうまくいっているため、緊急時の対応がスムーズに行われている。 ・ 他部署（ごみ処理）との連携の強化に取り組んで欲しい。多能工職員化。 ・ 葬祭関連の事業は人に寄りそう仕事であるため、丁寧な心づかいが必要になると思う。できれば手厚い人材登用を考えていくことも必要かと思います。

	施設管理に関するその他の要件事項等	・ 清掃もしっかりと行われており設備の点検も高い水準で実行されている。 ・ 昼休み時間帯の収骨業務について今後よく検討してほしい。 ・ 平等なサービスが提供されていると思う。地域・地元の職員が活躍されている。 ・ 適切に運営されている。
	管理経費の縮減	・ 無駄な使用を抑えるなど今後も工夫して縮減してほしい。 ・ 経費削減の努力がうかがわれる。 ・ 軽油等の経費が上がる中でよく運営されている。現状維持を期待したい。